

# 浜口陽三展 ― 黒の秘密

*Hamaguchi Yozo*

2025. **10.11** | 土 | — **12.7** | 日 |

休館日 月曜日(ただし10/13、11/3、11/24は開館)、  
10/14、11/4、11/25は振替休館

開館時間 11:00~17:00(土日祝は10:00~)、最終入館16:30

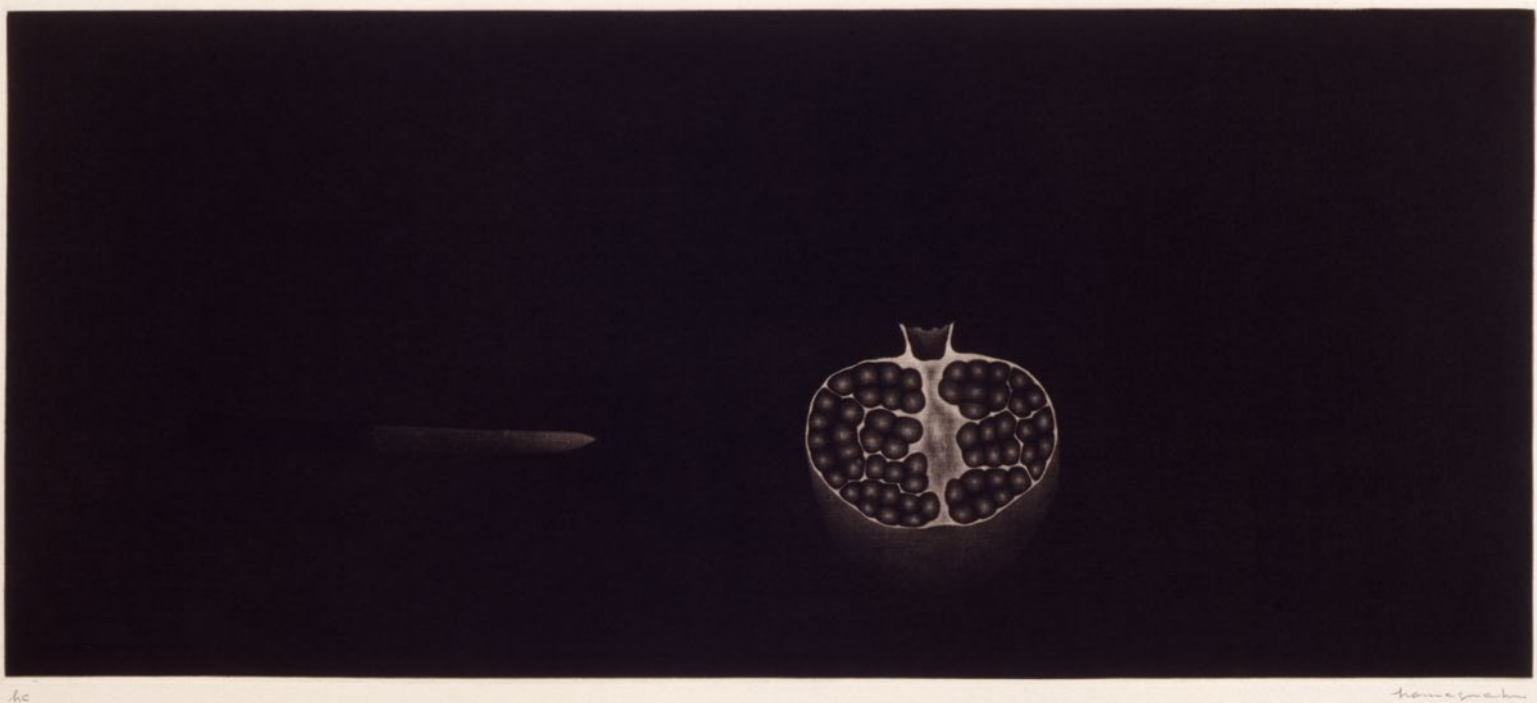
入館料 大人600円/大学・高校生400円/中学生以下無料

作品:《17のさくらんぼ》 Seventeen Cherries 1968年 color mezzotint 24.5×51.7cm



Musée  
Hamaguchi  
Yozo :  
Yamasa  
Collection

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション



《ざくろとナイフ》 Pomegranate and Knife 1960年 mezzotint 23.5×54.1cm



《女の顔》 Woman's Face  
1954年 mezzotint 29.3×29.0cm



《2匹の蝶》 Two Butterflies  
1977年 color mezzotint 15.5×15.4cm

さくらんぼの背景には、縦と横と無数の色が交差しています。銅の表面を微かに彫り、そこにインクを詰めて刷った作品です。

20世紀後半、世界的に活躍した銅版画家、浜口陽三は銅版画の本場であるヨーロッパを中心に制作を続け、新しい技法と作風を生み出しました。

光と闇、やわらかさと静けさ、数えきれないニュアンスが、手作業によって表現されました。

この展覧会では作品の一番大切な色、黒をとりあげて、制作方法、表現力、タイトルの3つのポイントから作品の魅力に迫ります。

### EVENT 1 銅版画メゾチント体験教室

一回の実習で製版から刷りまで行い、ハガキサイズの作品を完成させます。初めてでも無理なくご参加いただける、初心者向けの教室です。

【講師】 江本創(アーティスト)

【日時】 10/25(土)、11/22(土)

両日とも ①午前 ②午後 の2回開催

①10:00-13:00/②14:00-17:00

【参加費】 2,000円+入館料 【定員】 各回10名

【持ち物】 12×7.5cmの下絵、汚れてもよい服装またはエプロン

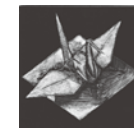
【お申込】 10/12(日)12:00より電話にて先着受付



### EVENT 2 体験コーナー「黒地に描く白」

展覧会中常時 所要30分～

手軽なメゾチントの疑似体験です。黒いボードを削り、明るい部分を描きだすスクラッチという技法です。細かい削りを重ねることで白の諧調をつくりだし、黒の世界に白い絵を描きましょう。

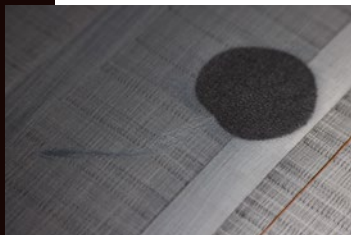


【材料費】 500円

※各イベントの画像は一例です。

*Special*

本年も武蔵野市立吉祥寺美術館より、浜口陽三の原版を数点お借りして展示します。「17のさくらんぼ」「毛糸」など圧巻の超絶技巧をご覧ください。



画像は昨年展示した「14のさくらんぼ」の一部です。

## ミュゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

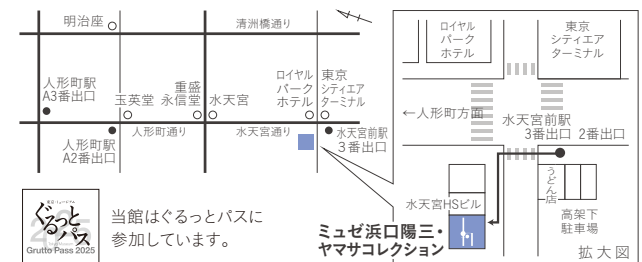
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel 03-3665-0251 HP <https://www.yamasa.com/musee/>

〈アクセス〉 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば  
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分  
都営浅草線[人形町]A5出口  
徒歩10分



Map English



当館はぐるっとバスに参加しています。

ミュゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション 拡大図